



2023年3月期 決算説明資料

2023年5月15日

住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

2023年3月期(2022年度) 決算概要

2023年3月期 連結業績(前年との比較)

売上収益と当期利益で過去最高を達成

(金額単位: 億円)

	2022年3月期 実績①	2023年3月期 実績②	前年同期比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	2,631	2,849	218	8.3%
事業利益	265	254	-10	-3.9%
営業利益	249	248	-1	-0.3%
当期利益	183	203	20	10.9%
ROE	8.5%	8.4%	-	-

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース

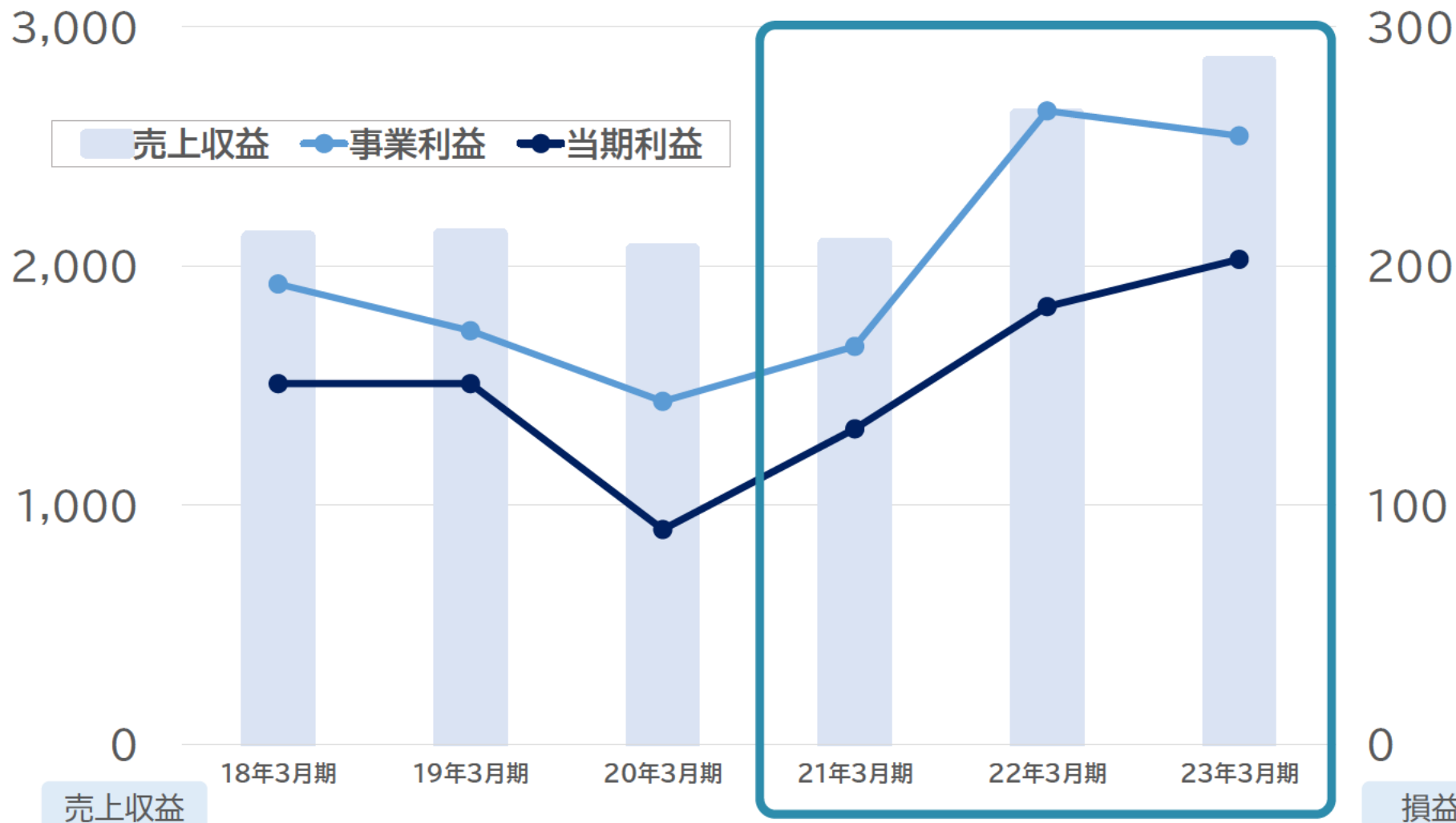
「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

為替レート	2022年3月期	2023年3月期
USD(\$/¥)	112.86	134.95
EUR(€/¥)	131.01	141.24

売上収益・損益(年度推移)

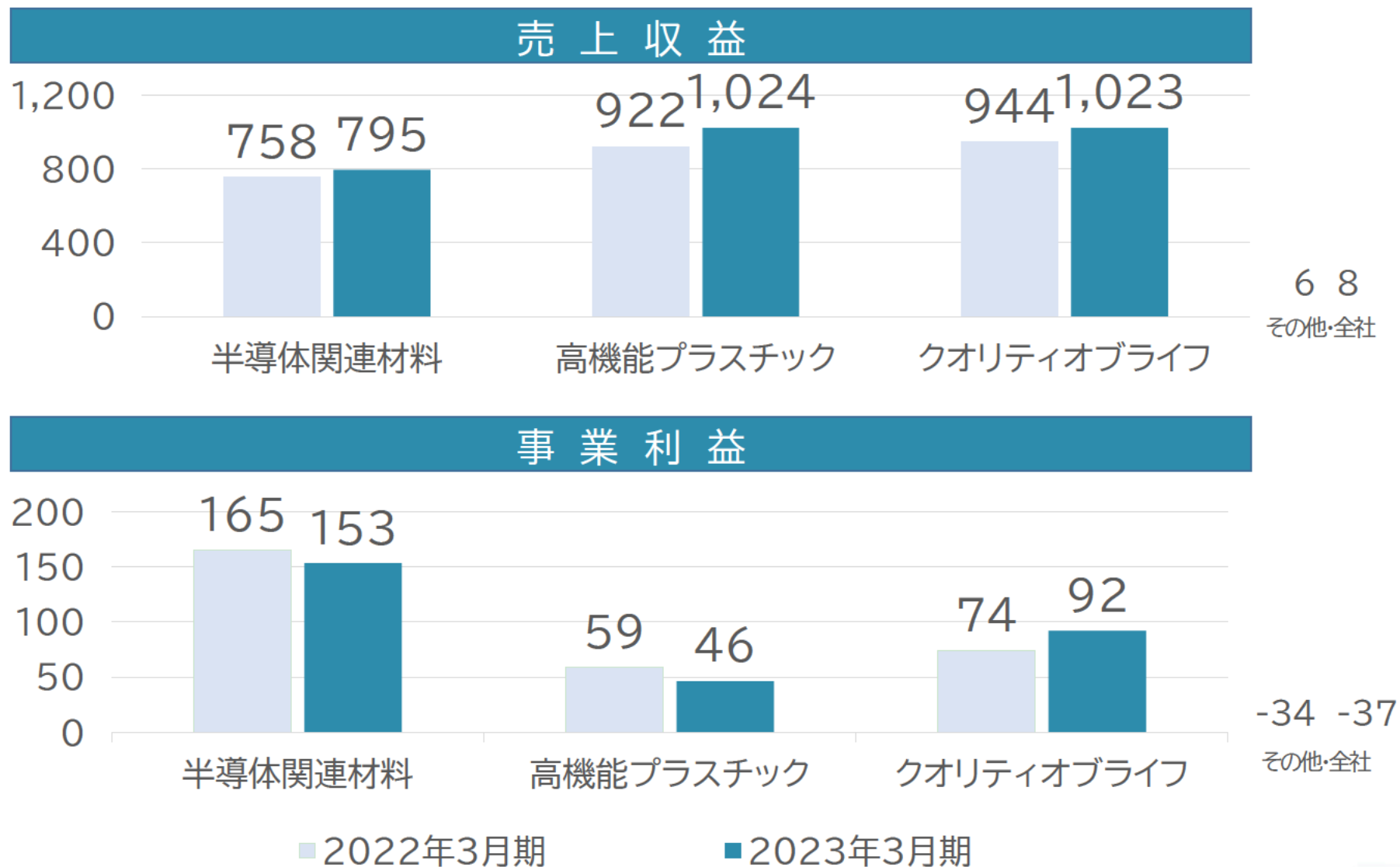
当期利益は3期連続で増益を達成

(金額単位:億円)



事業セグメント別業績比較(前年との比較)

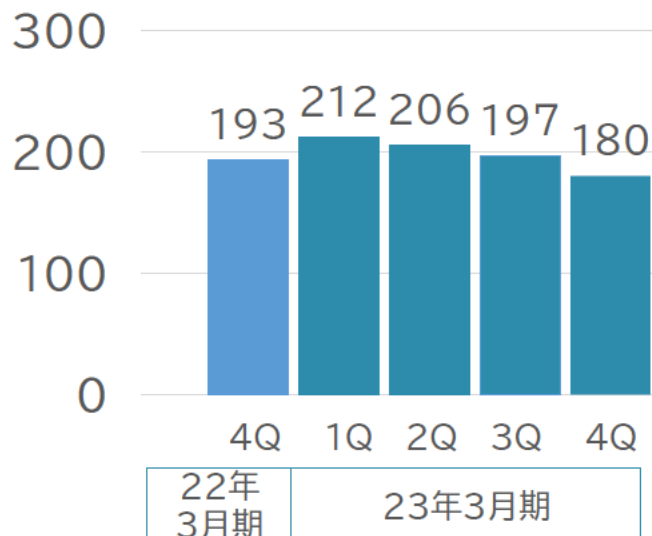
(金額単位:億円)



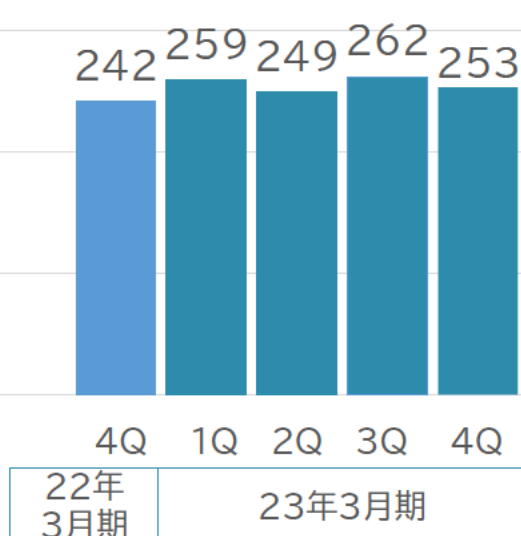
事業セグメント別 四半期販売推移

(金額単位:億円)

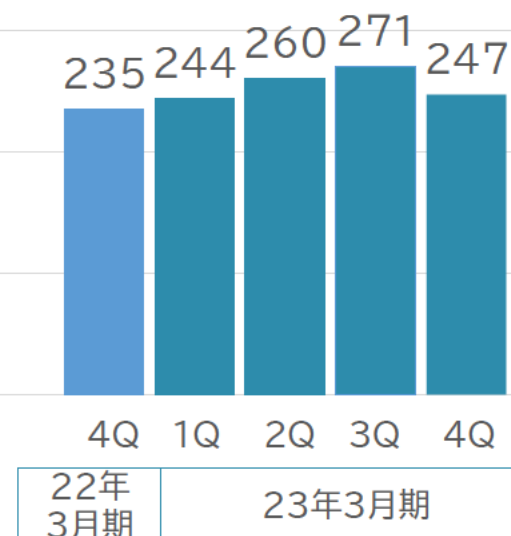
半導体関連材料



高機能プラスチック



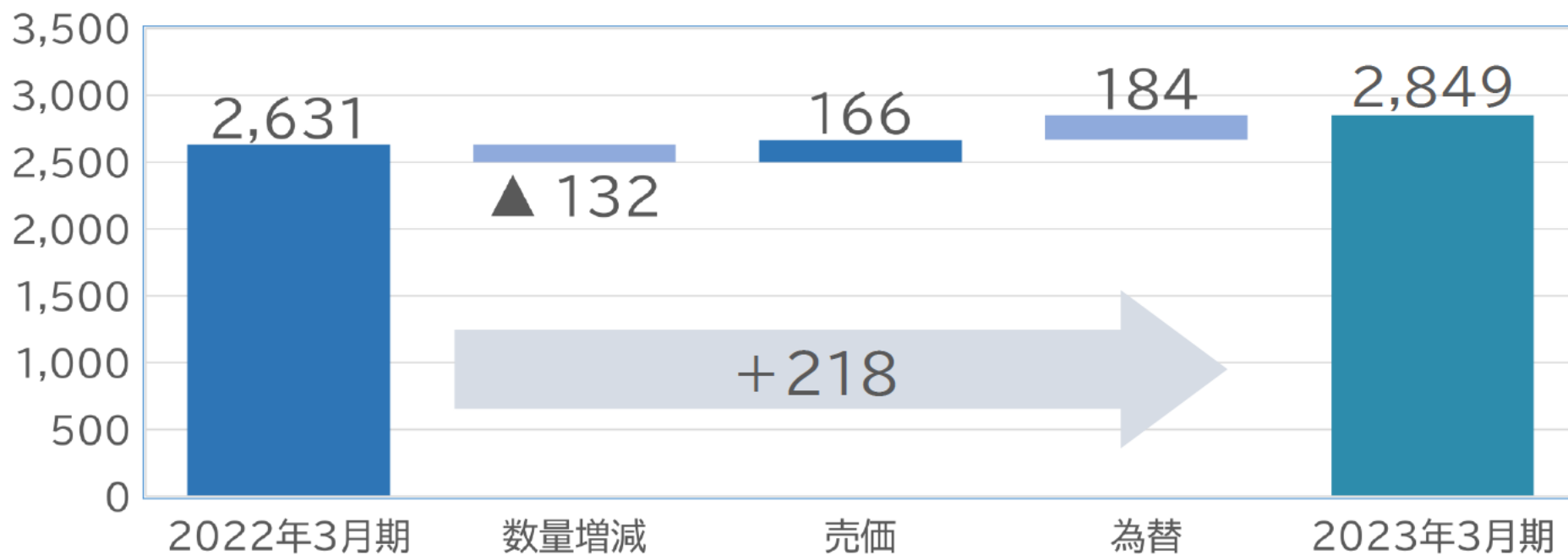
クオリティ オブ ライフ



- 半導体関連材料 : 民生向けで在庫調整の影響が長期化している
- 高機能プラスチック : 自動車生産減、民生需要の落ち込みの影響が続く
- クオリティオブライフ : ヘルスケア関連製品の北米向けやフィルム・シートの医薬品包装用途で堅調が続く

売上収益増減要因(前年との比較)

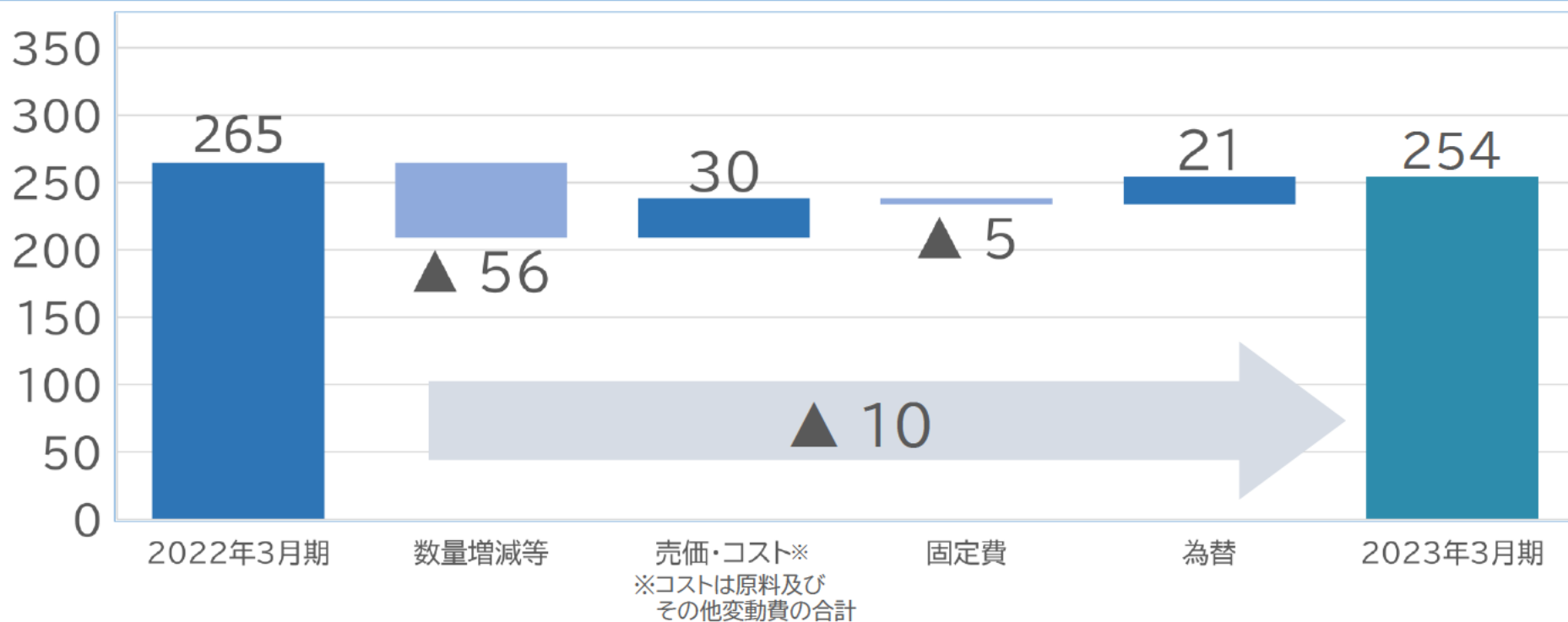
(金額単位:億円)



セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	▲ 56	24	70	38
高機能プラスチック	▲ 92	99	94	101
クオリティオブライフ	15	43	20	78

事業利益増減要因(前年との比較)

(金額単位：億円)



セグメント別	数量増減等	売価・コスト	固定費	為替	合計
半導体関連材料	▲19	5	▲12	15	▲12
高機能プラスチック	▲40	21	2	4	▲13
クオリティオブライフ	1	4	11	2	18
その他	2	0	▲5	0	▲3

2024年3月期(2023年度) 通期 業績予想

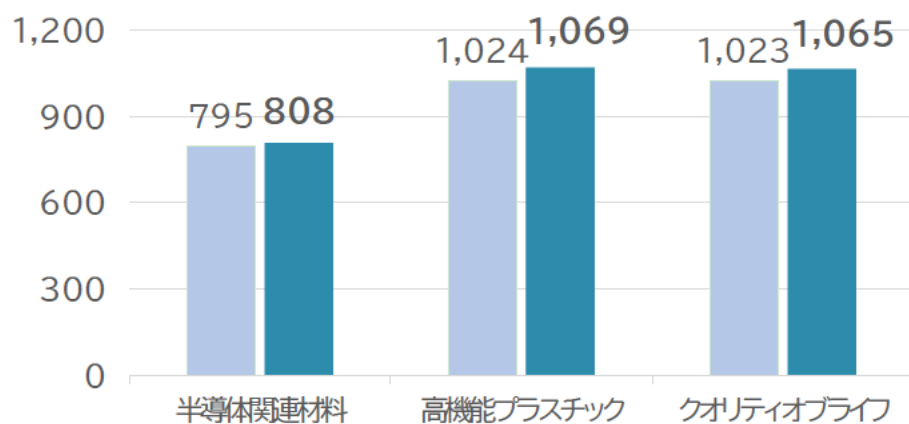
2024年3月期 通期 連結業績予想

(金額単位:億円)

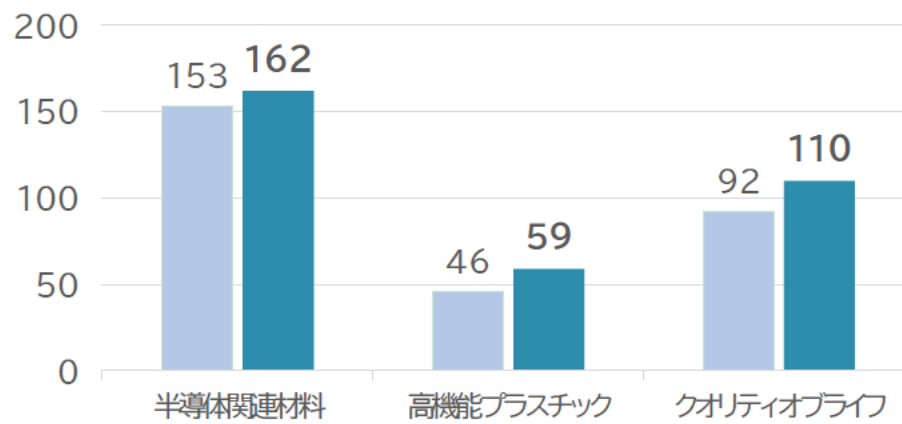
	2023年3月期 実績①	2024年3月期 予想②	前期実績比較	
			金額(②-①)	増減率
売上収益	2,849	2,950	101	3.5%
事業利益	254	285	31	12.0%
当期利益	203	215	12	6.0%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上収益



セグメント別事業利益



■ 2023年3月期実績

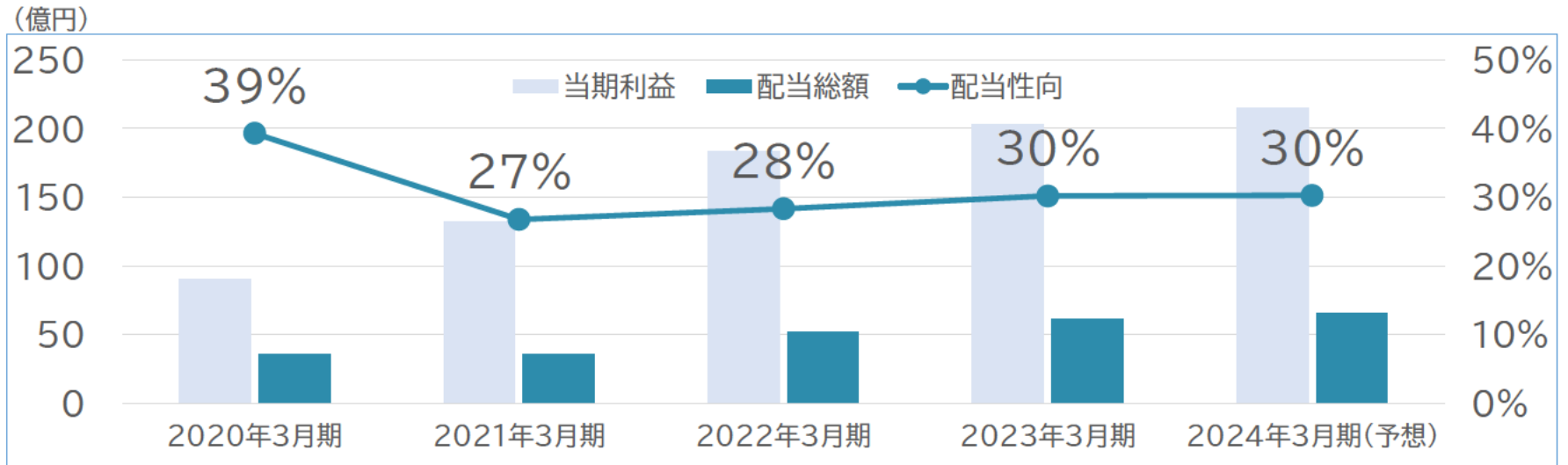
■ 2024年3月期予想

株主還元

■ 配当予想(2024年3月期)：140円/株(中間70円・期末70円)

1株当たり配当予想は前年度比10円増配

■ 自己株式取得：30億円(取得期間：2023年5月16日～2023年9月29日)



配当金(円)/株	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期(予想)
中間配当	37.50	45.00	50.00	60.00	70.00
期末配当	37.50	30.00	60.00	70.00*	70.00
年間配当	75.00	75.00	110.00	130.00*	140.00

*4月24日公表

中期経営計画のレビュー

本中期における主要施策

Vision

「未来に夢を提供する会社」

中期基本方針 機能性化学分野で「ニッチ&トップシェア」の実現

新しいビジネスモデルへの挑戦

組織カルチャーの進化

経営
基盤

組織横断

One Sumibe
R&D SOLITE

研究開発
マーケティング機能
ものづくり基盤



挑戦する文化の醸成
人事制度見直し
働き方改革

重点
施策

- ①成長領域への積極投資
- ②環境分野への布石
- ③低迷事業のテコ入れ
- ④BCP対応

数値
目標

売上収益:3,000億円・事業利益:300億円・ROE:10%
(2022年5月に目標値を見直し)

DX
推進

SDGsへの貢献(カーボンニュートラル)

中期経営計画の進捗

新しいビジネスモデルへの挑戦

組織カルチャーの進化

■ 新しいビジネスの創出

プロジェクトを立上げ、リソース集中(樹脂化e-Axle、放熱材、光導波路、電子調光など)

■ OneSumibe活動の定着・進化

グローバルで組織横断的なマーケティング、営業活動の強化

自発的なコミュニケーション機会の創出による社内ネットワークの強化

■ 「社員が生き生きと活躍できる会社」への取り組み

人事制度を一部改定、チャレンジを評価する制度への見直し

DE&I推進室の設置、多様な人材が活躍できる職場環境の実現へ



DXの推進

■ DX人財育成、DX風土の醸成による人生産性の向上

研究開発 : データ基盤を整備、MI技術の展開とデータサイエンティスト育成を強化

モノづくり: オートパイロット制御をWW展開し、適用製品を拡大。ロボティクス導入

業務全般 : ITを生かした営業・事務の変革、人生産性向上と働き方改革を推進

中期経営計画の進捗

SDGs貢献製品 売上比率目標

2030年度 70%以上を目指し、活動を推進

2020年度 (実績)

37%



2021年度 (実績)

48%



2022年度 (速報値)

53%



2030年度

70%以上

環境対応の取組み

■ カーボンニュートラルへの挑戦

2022年度CO₂削減実績(Scope1,2・速報値):

2013年度比 国内64.7%削減 (海外を含めて、39.3%削減)

2030年度グローバル目標46%以上削減に向けて、再生エネ電力の拡大、太陽光発電増設、新技術の検討を推進

■ 全社環境開発ロードマップを活用し、技術開発をスピードアップ

「資源」「創エネ・省エネ」「長寿命」「3R」「環境対策」から環境配慮型製品の開発促進
(例)・バイオマス由来製品(フェノール樹脂、食品包装用フィルムなど)
・e-Axleへの樹脂活用 など

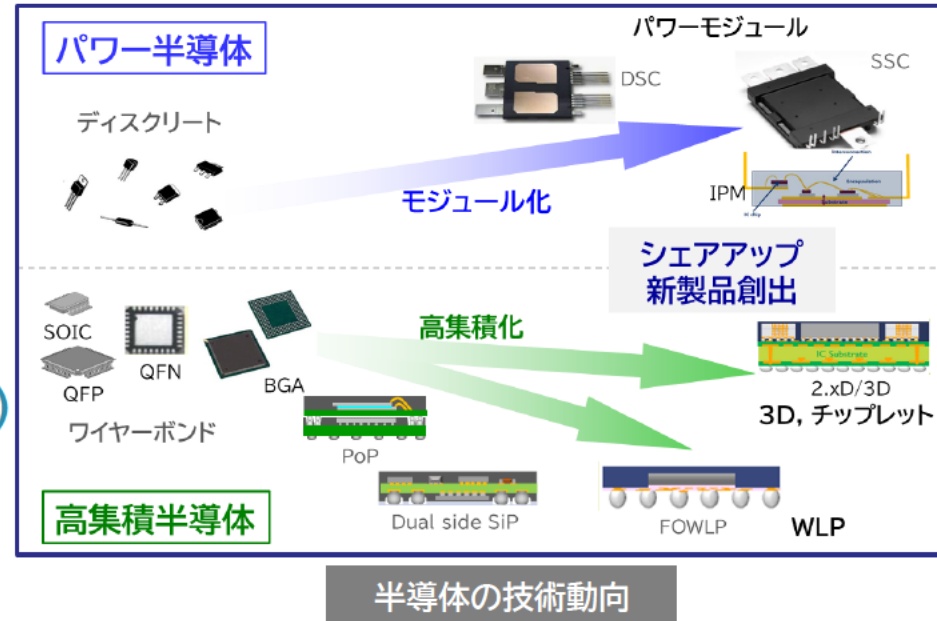
■ LCA(Life Cycle Assessment)、2024年度中に全製品適用へ

各セグメントの重点施策

顧客ニーズにいち早く応えシェア拡大、半導体需要の回復に備える

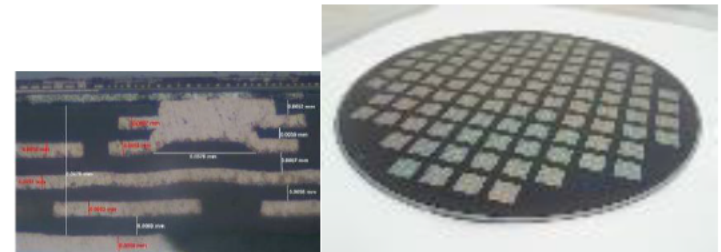
【2023年度の取組み】

- 成長続けるパワー半導体用材料の
シェア拡大
高放熱・高絶縁封止材
高放熱ダイボンディングペースト
- 高集積半導体(WLP、チップレット等)
用材料の拡販
モールドアンダーフィル材、顆粒材
感光性再配線材



【中長期の取組み】

- 長期的成長を見据えた生産体制強化
台湾、中国 で新ライン導入
- 環境対応への取組みを推進
バイオ原料、常温保管／低温硬化などの材料開発



感光性再配線材(WLP用)

当社グループのネットワークを生かして、ワールドワイドで市場拡大

■モーター磁石固定用封止材

大型モーター、次世代モーター、新規顧客へ拡販

■パワーモジュール封止材

EV用バッテリーに対応した高放熱材の開発

■ECU一括封止材

多様な案件に対応し、一括封止のデファクト化推進

■次世代モビリティ用途開発の推進

ステーター用封止材の量産実績化、案件拡大



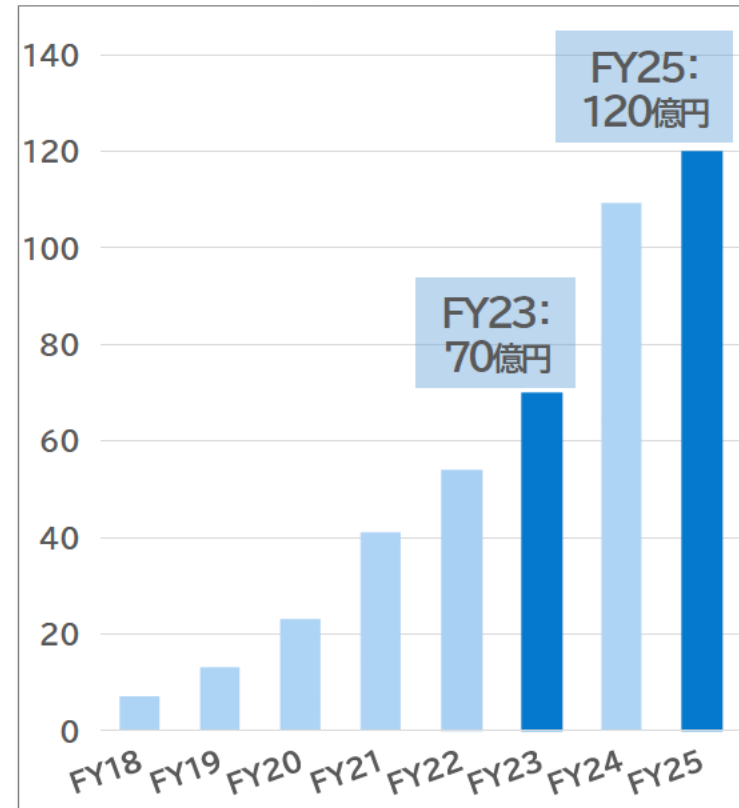
モーター磁石固定用
封止材

ECU一括封材

パワーモジュール用
封止材

ステーター用封止材

(単位:億円/年)

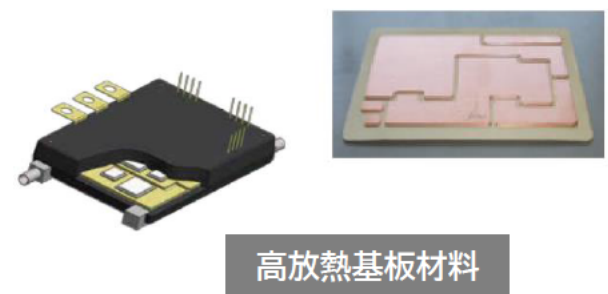


モビリティ戦略3製品販売計画

事業ポートフォリオの変革、成長3分野へ開発リソースを集中

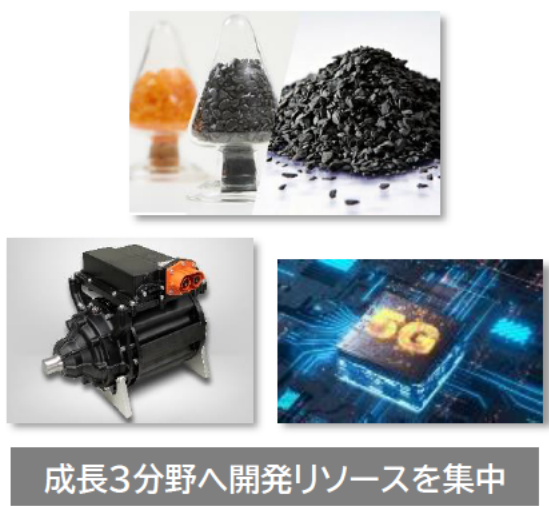
【2023年度の取組み】

- SiC/GaNパワーモジュール市場拡大に向け、12w級以上の放熱基板材料を開発、事業化へ
- 航空機内装部品、新用途への展開と欧州拡販へ



【中長期の取組み】

- 成長3分野への開発リソース集中
 - ①モビリティ・交通、②通信・制御、③エネルギー・環境 の3分野へ開発リソースを集中し、事業ポートフォリオを変革
- 環境対応製品のグローバル開発体制を整備
- 長期的成長を見据えた生産体制強化
 - 中国の新ライン導入、全拠点でDXによる生産性向上



樹脂技術で、熱マネジメント、小型・軽量化、低振動・低騒音を提案



低侵襲治療分野・診断薬の開発を強化

【2023年度の取組み】

■ 医療機器

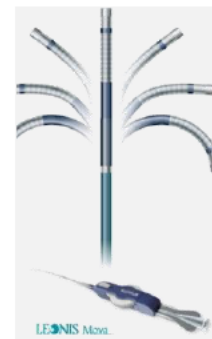
PMIの進展(研究開発シナジー加速、システム統合)
営業プロセス変革による人生産性向上
低侵襲治療分野(血管内、消化器)のシェア拡大

■ S-バイオ

再生医療:差別化製品(PrimeSurface、SuperQuality)の輸出拡大
診断薬:自社製造診断薬(膵炎用)の拡販



胆管ステント



能動カテーテル

【中長期の取組み】

■ 医療機器

血管内治療デバイス、消化管ステント市場の製品ラインナップ増強による販売拡大

■ S-バイオ

創薬支援事業のグローバル化を推進(糖鎖ソリューション拡充など)



SuperQuality

顧客提供価値を高め、成長分野へのシフトを加速

【2023年度の取組み】

■ フィルム・シート

医薬品用：バイオマス品量産開始、モノマテリアル品の欧州市場進出

食品用：環境対応品(スキンパック等)の拡販

産業用：カバーテープ、ダイシングテープの中国OSAT、IDMへの拡販

■ 産業機能性材料

アイウェア、車載HUD、絶縁材の開発・拡販

■ シート防水

住宅向けで営業、施工を強化、ソーラーと防水の
一体型システムで成長軌道へ



スキンパックフィルム



部品間絶縁

EV向け高電圧部品間
絶縁材

【中長期の取組み】

■ フィルム・シート：環境対応製品の拡充、スマートファクトリー化推進

■ 産業機能性材料：新たな付加価値の提供へ、電子調光技術の事業化を推進

■ シート防水：顧客とITでつながる、生産から施工まで一貫した効率化

【免責事項について】

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

本資料に掲載されている住友ベークライト株式会社の計画、戦略、判断などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定および判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。当社の決算情報は、情報提供を目的としたものであり、ここに含まれる将来の見通し・業績見通し等に全面的に依存することはお控えください。また、投資等の最終的な意志決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

【著作権について】

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等を行うことを禁止しております。

【会社名の表記方法について】

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。